

第五中学校チャレンジクラスの開設について

1 チャレンジクラスの概要

チャレンジクラスは、不登校生徒を対象として、その実態に配慮した教育を実施する中学校の学級のこと。チャレンジクラスは、不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある生活時程を実現し、一人ひとりの生徒の状況に応じた支援を行うことを目的としている。

2 対象となる生徒

チャレンジクラスの対象は、武蔵野市立学校に在籍又は武蔵野市在住の児童生徒で以下のいずれかにあてはまる児童生徒（児童は、翌年度に中学1年生になる小学6年生が対象）

- (1) 年間 30 日以上欠席し、何らかの心理的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にある生徒（ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。）
- (2) 断続的な不登校又は不登校の傾向が見られる生徒

※ チャレンジクラスは、特別支援教育を目的とした学級ではない。

3 開設予定年月日、設置校及び学級数

令和 8 年 4 月 1 日、第五中学校、3 学級（各学年 1 学級）

4 チャレンジクラスの主な特徴

- (1) 新しい環境での学び

生徒の別の環境で学びたい気持ちを支援する。第五中学校以外の中学校区に在籍する生徒も入級することができる（その場合は、転校の手続が必要）。

- (2) 教員によるゆとりある授業

少人数の環境の中で正規の教員が授業を行う。生徒の状況に合わせ、1 日 4 コマ程度のゆとりある生活時程の中で学習を進める。

- (3) 相談支援体制

定期的に本人や保護者と面談しながら個別の支援計画を立てる。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに相談をすることもできる。

(参考) チャレンジクラスでの1日の流れの例

| 通常学級 | チャレンジクラス | 生活時程 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|----------|-------------|-------|----|-----|-----|----|
| 1校時 | | 9:20～9:35 | 登校 | | | | |
| | | 9:35～9:40 | 朝学活 | | | | |
| 2校時 | 1校時 | 9:45～10:35 | 学活 | 社会 | 道德 | 英語 | 保体 |
| 3校時 | 2校時 | 10:45～11:35 | 国語 | 英語 | 理科 | 理科 | 数学 |
| 4校時 | 3校時 | 11:45～12:35 | 技術／家庭 | 数学 | 保体 | 国語 | 社会 |
| | | 12:40～13:05 | 給食 | | | | |
| | | 13:05～13:25 | 昼休み | | 終学活 | 昼休み | |
| 5校時 | 4校時 | 13:30～14:20 | 総合 | 音楽 | 下校 | 美術 | 総合 |
| 6校時 | | 14:20～14:30 | 終学活 | | | 終学活 | |
| | | 14:30～ | 下校 | | | 下校 | |

5 チャレンジクラス入級までの流れ

(1) 相談申請

保護者は、在籍校の校長にチャレンジクラスへの入級希望を伝え、面談した後、入級申請書を提出する。

(2) 体験入級（※令和8年4月以降実施）

生徒は、2週間程度の体験入級を行う。

(3) 入級審査

教育委員会は、入級に係る審査会を開催し、チャレンジクラスへの入級の可否を保護者に通知する。

6 今後の予定

2月 入級審査、入級手続の実施

3月 教室環境の整備

4月 チャレンジクラスの開設